

緑ネット通信

No.89

緑のネットワーク・まつど

代 表：藤田 隆

年 会 費：1000 円

口座番号：00170-9-696174

連 絡 先：高橋盛男 090-2935-9444

都市の緑を残すためには、緑を見守り育む人のネットワークが不可欠です。私たちの活動の目的は、みどり特に樹林の保護・保全を願う人やグループと連携しその輪を広げ、豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることです。

Let's 体験!! 2025

“Let's 体験!!” は、松戸市民活動サポートセンターが主催する中学生～20 代の若者を対象とした、夏休みのボランティア体験講座です。

今年は松戸市内のさまざまな団体が子育て、福祉、環境などの分野で 49 のプログラムを用意していました。「マッチングの会」を経て森でのボランティアを選んだ若者たち・・・さて、その様子は？



朝のミーティングでは、地主の小嶋さんから「松戸市の数少ない森を守ることの意義を今日一日体験して下さい」と挨拶がありました。...



森をぐるっと、自然観察。樹木、草花、昆虫類の説明だけでなく、森と小嶋家の歴史も教わる。

**三樹の会
三吉の森にて**

ストーリー性のある展開のプログラム。自分で竹を切り出し、作った食器で食べる流しそうめんは、さぞ美味しかったことでしょう。



竹林整備体験。
一人 1 本の孟宗竹を伐採。



自作の竹の食器で、流しそうめん初体験。午後には草木染の体験も！最後には参加賞授与式が行われました。



自分で切り出した竹でマイカップとマイ箸づくり

「樹と人の折り合い」山と里のあいだを見つめて…

つりけあ企画、 はじめました！



寄稿

森の研究生・なかねっこ

森と人のあいだにあるちいさな境界

筆者が森の研究生を始めたのは「2021 年夏」なのですが、森は知る人ぞ知る場所で知られざる秘境といった感じでした。沢山の生き物が棲む、生命の塊である森。だけれど…ぐんぐん伸びて住宅まで届く勢いは物凄い（生命力）。4 年間の里やま活動を通じて「森と人のあいだ」には色んな課題があることを知ります。ここに書ききれないので割愛します…

筆者の想い

生命の営みの隣で人間も共に健やかに生きてゆかれるように願って…。生命力逞しい森の循環を里にも繋げていきたい。そのために【未来の森の仕組み】がどうあれば良いのかを考え、全体視点をずっと意識して学んできました。そして気付いたのは…

人間の生産活動が自然から大きく離れてしまった今、現実的に「樹と人の折り合いをみつけること」は難しいけれど、実はそれが一番重要だったということです。そしてそれが「ツリーケア」という概念だったのです。

本題*ツリーケアって何だろう

重要なことは「人の営み」と森が寄り添えるということでした。樹と人が仲良く在るために土や根の世界のことも考え、枝を剪定させてもらう。そして、その枝を使って greenwoodwork、草紬いや木育活動をする等…森の巡りが人の豊かな日常になっていく…（そんな暮らしができると理想的だなあ…）

そのような広い視野で連鎖していける世界を育てていくことが「ツリーケア」なのだと思います。

（それはきっと森の木だけでなく、家の庭木を剪定することも含まれると思っています！）

つりけあ企画のはじまり

筆者はこの「ツリーケア」の概念を知ってもらいたくて、地元である松戸市と市川市を軸に「ツリーケアを考える会」という森と人のあいだ（これから）を考える仲間同士が集える企画をはじめました。まずは 2024 年春に里やま活動をする方へ「ツリークライミング®見学会」をすることにしました。まだこの技術がどういう仕組みで成っていて、どんなことができるのかを実際に見たことがない方が多かったからです。その時にスローラインも初めて紹介しました。知ってもらうことで考えを深めるきっかけとなり、次につながると思いました。実際にやってみて、これからも継続的に企画してねという意見やスローラインを自作する方も出てきました。それ以来このような企画を続けて、スローライン練習会等…参加者とともにツリーケアを考える機会を創ることができました。

交流自体に価値がある

（発見と探求）

森や自然を愛する活動をする者同士、他者との交流があることでより知識が深められ、想いが広がっていったりすることを相乗効果として感じました。でもこの筆者の研究は序章に過ぎません。今後もその先のツリーケアを考えられる企画（greenwoodwork、木育活動、草紬いやなど）を続けて、未知なる可能性を見つけていきたい…
✨…森の巡りの可能性は無限大なのです。



★漫画のしずくどりとおじくまのように体感をもって学んでいます！安全とユーモアも忘れずに…。

※ツリークライミング®：ロープで木を登る技術。

※スローライン：錘と紐を結び、振り子の力で投げる。

第36回「みどりの愛護」のつどい 松戸市で開催

「みどりの日」が制定された際に“全国のみどりの関係者が一堂につどい、広く緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境作りを推進するとともに、緑を守り育てる国民運動を積極的に推進していくことを目的として”平成2年より開催されている「みどりの愛護」のつどい。第36回の今年は6月7日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席のもと、森のホール21で行われ、全国から公園緑地の愛護団体、河川等の愛護や道路の愛護活動を通じ緑の保護育成を行っている団体、地域の緑化・緑の保全団体などが集まりました。

「みどりの愛護」功労者の国土交通大臣表彰、受賞団体は94団体。続いて、「みどりの愛護」のつどい記念千葉県都市緑化功労者の千葉県知事表彰が行われました。受賞団体は32団体。

「みどりの愛護」受賞団体を代表して松戸里やま応援団 横山元（はじむ）代表が活動事例を紹介し「これからも残された貴重で身近な森の保全整備活動を頑張っていきます」と宣言しました。



（松戸市 HP より）



代表、功労者表彰受賞代表が「イヌマキ」、「スダジイ」、「ソメイヨシノ」の苗木を植樹されました。

記念植樹に花を添えた
県立松戸六実高校吹奏
楽部の演奏



2025年夏 猛暑でしたが・・・ 松戸の森は元気でした!!

活動報告書より

6/22 芋の作の森でスローライン&ロープワーク練習会(写真右)

6/26 根っ子の会、環境大臣より地域環境保全功労者表彰を受賞。

6/27 セタ用竹の伐り出し 32.4℃の中、里やまボランティア 15 名とみどりと花の課 4 名が参加。子どもたちの待つ放課後児童クラブへ届けた。

7/4 七樹の会 石みやの森農園で園児のサツマイモ収穫体験(下)



7/6,7,8 芋の作の森で「ヤマユリ鑑賞会」

7/8 しんやまの森に園児約 90 名が訪問(下)

7/25 溜ノ上の森で「虫とあそぼう」

7/27 野うさぎの森で

Let's 体験受け入れ

8/3 関さんの森で Let's 体験受け入れ(右)

8/6 野うさぎの森で Let's 体験受け入れ

8/7 里やま Q が 21

世紀の森と広場で「ドンちゃん・グリちゃんの自然展 水鉄砲を作って遊ぼう」を実施(右)（そのための準備で 7/3 竹の切り出し 7/17 竹の伐り出し 7/26 最終準備・製作練習など）



8/18 幸谷小学校放課
後児童クラブの竹工
作のための竹を旧齊
藤邸より切り出し、
8/19 子どもたちと竹
ぼっくり作り



8/20 野うさぎの森で近隣自治会の「夏休み子ども教
室」の皆さんを受け入れ

8/22 根っここの会で公園緑地課インターンシップ生と
チップ作業



8/27 野うさぎの森で
サッカー部員のボランテ
ィア受け入れ。さすが若
い力とチームワーク！
(左)

9/4 大作の森、オリンポ
スの山で地域活躍塾の塾
生受け入れ

猛暑での作業やイベント さて、どうする？

今年の夏は早くから暑さが厳しく長く続いた。ボラ
ンティア活動とはいえ、安全管理の責任は生ず
る！と言うことで、各森それぞれ熱中症対策に配慮
しての活動となった。どんな対策をとったのか、連
絡会での報告を拾ってみた。

- ★8月は活動を中止(八ヶ崎、小浜屋敷、石みや)
- ★開始/終了時間を早めた(みなみ、大作、ほか)
- ★適切な休憩や水分補給を心がけた
- ★作業内容の変更(ひかげを選ぶ、軽作業のみとす
る、勉強会をする、畑作業は早朝夕方にするなど)
- ★熱中症警戒アラートに準じてコントロールする
ことにした(甚左衛門)

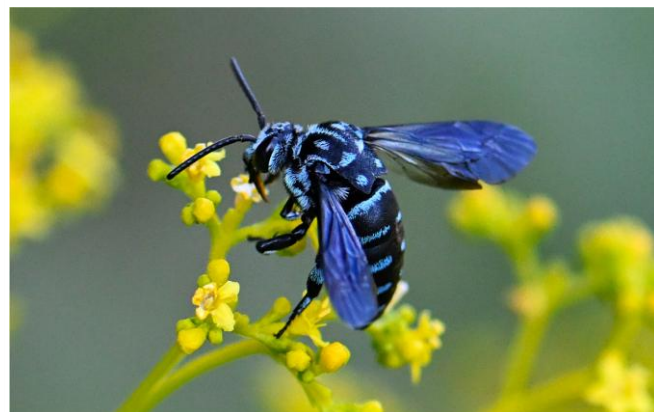
など

他の森の事例も参考にして、来年の夏も
無事に乗り切れますように！！

～ぜんのコラム 61～

幸せの青い蜂3種に会う

昨年9月の85号では「幸せの青い蜂」として、オ
オセイボウを紹介した。しかし、ネットで「幸せの青
い蜂」を検索すると、圧倒的にヒットするのは、ルリ
モンハナバチ。今年の夏、21世紀の森と広場のオミ
ナエシ群落にて、念願のルリモンハナバチに会うこ
とができたので、紹介しよう。



ルリモンハナバチ 2025.8.3 21世紀の森と広場

さらにハギ群落で会えたのは、アオスジハナバチ。



アオスジハナバチ 2025.8.28 21世紀の森と広場

もちろんオオセイボウには毎日会うことができ、
今年の夏は「幸せの青い蜂」3種に会えたことにな
る。温暖化が要因の猛暑は辛かったが、青い蜂3種
に会えて、ちょっとだけ幸せな夏だった。

(山田純稔)

★松戸のみどり再発見ツアー（観察学習会）No.69

金ヶ作で巨木に出会い「みんなの森」で遊ぼう

お天気が良ければ「みんなの森」囲いやまで、お弁当を食べたり遊んだり、まったりしたり・・・

10月12日(日)9:30~12:00~1400 (小雨実施) 参加費 500円 (会員は300円)

集合 常盤平駅 改札口 9:30 集合

持ち物 飲み物、雨具

申込み・問合せ: 090-4078-3703 (藤田 18時以降)

その他 歩きやすい服装でどうぞ

※参加は申込制・先着40名 (10月1日より受付)